

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかりクラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所に認定特定行為従事者が在籍しており、看護師指導の基、医療的ケアを実施している	医療的ケアを実施する職員が不安にならないよう看護師によるサポートの実施や随時相談や助言が行える体制が整っている	認定特定行為従事者の育成に努め、看護師指導の基、よりよい支援が提供できる体制を作っていく
2	【設備】 ・入浴設備を管理しており、要相談ではあるが入浴支援を提供している  ・スヌーズレンルームを利用出来る	・保護者の負担軽減になるよう平日のみならず、休日・長期休み等にも入浴支援を実施している  ・長期休みや祝日等にスヌーズレンに対する知識持つ者が支援をしたり、遊び感覚でも利用できるようにしている	・入浴支援が行える職員の育成・希望される児童が入浴できる人員体制の構築  ・集団だけでなく、個別でも対応できる環境作り
3	短期入所事業・日中一時支援事業等の他事業所との連携により、放デイ⇔短期入所事業⇔日中一時支援事業とよりスムーズな利用が可能となっている	保護者と短期入所事業・日中一時支援事業との連絡役等を行ったり、相談等の受付を行っている	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理学療法士・看護師数の少なさ	必要数の看護師配置となっているが、応援体制等が難しいことがある。 理学療法士が別事業所との兼務となっており、定期的なりハビリの提供ができない状態となっている。	・他事業所とのより強い協力体制の構築 ・必要に応じた看護師の配置の検討
2	潜在的利用者への情報発信	相談支援事業所との連携不足 利用児へのアプローチ不足	・各相談支援事業所へのアプローチ ・各特別支援学校へのアプローチ等 ・情報発信媒体の構築・推進
3			